

令和6年における労働災害発生状況

令和6年9月末現在

北海道労働局労働基準部安全課

令和6年 業種別労働災害発生状況 その1

令和6年9月末現在

北海道労働局

業種別	令和6年			令和5年			対前年		業種割合 (%)	令和5年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計	32	5,464	5,496	33	5,817	5,850	-354	-6.1	100.0	51	9,004	9,055
製造業	4	766	770	2	768	770			14.0	4	1,141	1,145
食料品	1	387	388	1	421	422	-34	-8.1	7.1	3	631	634
木材・家具		78	78		70	70	8	11.4	1.4		87	87
紙・印刷		10	10		11	11	-1	-9.1	0.2		19	19
窯業・土石		27	27		30	30	-3	-10.0	0.5		43	43
金属・機械	1	114	115		119	119	-4	-3.4	2.1		182	182
その他	2	150	152	1	117	118	34	28.8	2.8	1	179	180
鉱業												
鉱山		2	2		3	3	-1	-33.3	0.0		3	3
土石採取業		21	21		9	9	12	133.3	0.4	1	16	17
建設業	12	522	534	3	586	589	-55	-9.3	9.7	6	893	899
土木工事業	7	169	176	1	196	197	-21	-10.7	3.2	4	296	300
建築工事業	3	224	227	2	256	258	-31	-12.0	4.1	2	379	381
木造建築業	1	62	63		64	64	-1	-1.6	1.1		115	115
その他	1	67	68		70	70	-2	-2.9	1.2		103	103
交通運輸事業		240	240	1	194	195	45	23.1	4.4	1	304	305
陸上貨物運送事業	3	555	558	6	561	567	-9	-1.6	10.2	10	825	835
道路貨物運送	3	523	526	6	522	528	-2	-0.4	9.6	10	768	778
陸上貨物取扱		32	32		39	39	-7	-17.9	0.6		57	57
港湾運送業		16	16		7	7	9	128.6	0.3		8	8
林業	1	51	52	4	43	47	5	10.6	0.9	4	64	68
水産業		58	58	1	69	70	-12	-17.1	1.1	1	140	141
商業	3	759	762	3	679	682	80	11.7	13.9	5	1,098	1,103
清掃・と畜業		344	344	3	279	282	62	22.0	6.3	3	425	428
上記以外の事業	9	2,130	2,139	10	2,619	2,629	-490	-18.6	38.9	16	4,087	4,103

※ 本統計は、労働者死傷病報告(休業4日以上)により集計した速報値である。

※ 死亡災害及び休業災害の件数は、本年・昨年ともに把握した件数である。

令和6年 業種別労働災害発生状況 その2

令和6年9月末現在

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

業種別	令和6年			令和5年			対前年		業種割合 (%)	令和5年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業	2	76	78		73	73	5	6.8	1.4		119	119
畜産業	3	175	178	1	215	216	-38	-17.6	3.2	2	326	328
金融・広告業		29	29		31	31	-2	-6.5	0.5		55	55
映画・演劇業		2	2		1	1	1	100.0	0.0		1	1
通信業		138	138		129	129	9	7.0	2.5		185	185
教育・研究業		54	54		45	45	9	20.0	1.0		69	69
保健衛生業	1	1,143	1,144		1,634	1,634	-490	-30.0	20.8	1	2,540	2,541
接客娯楽業	1	299	300	3	286	289	11	3.8	5.5	3	460	463
その他の事業	2	214	216	6	205	211	5	2.4	3.9	10	332	342
合計	9	2,130	2,139	10	2,619	2,629	-490	-18.6	38.9	16	4,087	4,103

「第三次産業」の内訳

業種別	令和6年			令和5年			対前年		業種割合 (%)	令和5年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業	3	759	762	3	679	682	80	11.7	13.9	5	1,098	1,103
うち小売業	1	600	601	1	527	528	73	13.8	10.9	2	859	861
金融・広告業		29	29		31	31	-2	-6.5	0.5		55	55
映画・演劇業		2	2		1	1	1	100.0	0.0		1	1
通信業		138	138		129	129	9	7.0	2.5		185	185
教育・研究業		54	54		45	45	9	20.0	1.0		69	69
保健・衛生業	1	1,143	1,144		1,634	1,634	-490	-30.0	20.8	1	2,540	2,541
うち社会福祉施設	1	579	580		773	773	-193	-25.0	10.6		1,213	1,213
うち医療保健業		552	552		855	855	-303	-35.4	10.0	1	1,320	1,321
接客・娯楽業	1	299	300	3	286	289	11	3.8	5.5	3	460	463
うち飲食店		120	120		143	143	-23	-16.1	2.2		222	222
うち旅館業		85	85		71	71	14	19.7	1.5		116	116
うちゴルフ場		38	38	1	33	34	4	11.8	0.7	1	51	52
清掃・と畜業		344	344	3	279	282	62	22.0	6.3	3	425	428
その他の事業	2	214	216	6	205	211	5	2.4	3.9	10	332	342
うち警備業		57	57	4	52	56	1	1.8	1.0	6	76	82
合計	7	2,982	2,989	15	3,289	3,304	-315	-9.5	54.4	22	5,165	5,187

令和6年 業種別死亡災害発生状況 [速報]

令和6年9月末現在

北海道労働局

業 種	令 和 6 年		令 和 5 年 同 期		対 前 年 比 較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全 産 業	32 (3)	100.0	33 (8)	100.0	-1	-3.0	4	16.0
製 造 業	4 ()	12.5	2 ()	6.1	2	100.0	2	100.0
鉱 業	()		()			—		—
建 設 業	12 ()	37.5	3 (1)	9.1	9	300.0	10	500.0
交通運輸事業	()		1 (1)	3.0	-1	-100.0		—
陸上貨物運送事業	3 (2)	9.4	6 (2)	18.2	-3	-50.0	-3	-75.0
港湾運送業	()		()			—		—
林 業	1 ()	3.1	4 ()	12.1	-3	-75.0	-3	-75.0
その他の事業	12 (1)	37.5	17 (4)	51.5	-5	-29.4	-2	-15.4

※ 本統計は、本年・昨年ともに把握した死亡者数の速報値である。

※ 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

令和6年 業種別死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)[速報]

令和6年9月末現在

北海道労働局

業 種	令 和 6 年		令 和 5 年 同 期		対 前 年 比 較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
その他の事業	12 (1)	100.0	17 (4)	100.0	-5	-29.4	-2	-15.4
小売業	1 ()	8.3	1 (1)	5.9			1	—
医療保健業	()		()			—		—
社会福祉施設	1 (1)	8.3	()		1	—		—
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	()		2 ()	11.8	-2	-100.0	-2	-100.0
ビルメンテナンス業	()		1 ()	5.9	-1	-100.0	-1	-100.0
ゴルフ場の事業	()		1 ()	5.9	-1	-100.0	-1	-100.0
警備業	()		4 (1)	23.5	-4	-100.0	-3	-100.0
農業・畜産業	5 ()	41.7	1 (1)	5.9	4	400.0	5	—
水産業	()		1 ()	5.9	-1	-100.0	-1	-100.0
その他	5 ()	41.7	6 (1)	35.3	-1	-16.7		

※ 本統計は、本年・昨年ともに把握した死亡者数の速報値である。

※ 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

令和6年 業種別・年別・月別死亡災害発生状況

令和6年9月末現在

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号		4号				5号		6-2号		7-2号		その他		合計									
	製造業	うち木材木製品製造業	鉱山保安法適用事業	土石採取業	建設業	道路貨物運送業	その他の運輸業	陸上貨物取扱業	港湾運送業	林業	水産業	その他	合計	その他	合計													
年別																												
平成25年	6			1	22	7	2		1	4	4	17	64															
平成26年	4			1	22	6	2			4	6	20	65															
平成27年	7			2	25	10	3	1	1	4		12	65															
平成28年	7			1	30	13	1			5	2	18	77															
平成29年	8			2	23	10	2			5	5	26	81															
平成30年	11	1			17	11				6		18	63															
令和元年	10				20	6	2			8	1	15	62															
令和2年	6	1		1	14	4	3	2		4	3	14	51															
令和3年	3	1		1	20	8	1			1	3	22	59															
令和4年	5				23	5	1			1	2	16	53															
区分																												
月別	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計				
年別																												
令和5年	1月																		1	1			1	1	2	2		
	2月	2	2							2	2										1	1			4	5	8	10
	3月		2								2									1	2	1	1	1	6	3	13	
	4月		2							2	4											1	1	2	8	4	17	
	5月		2								4												1	2	10	2	19	
	6月		2			2	2				4	1	1										1	2	12	5	24	
	7月		2			1	3				4	1	1								1	3	1	4	16	6	30	
	8月		2				3			2	6		1								1	4	1	1	17	4	34	
	9月	1	3				3			1	7		1									4	1	1	18	3	37	
	10月		3			1	1	2	5	2	9		1									4	1	2	20	7	44	
	11月		3				1	5	1	10		1										4	1	1	21	2	46	
	12月	1	4				1	6		10		1										4	1	3	24	5	51	
令和6年	1月						1	1	1	1											1	1			2	2	5	5
	2月						2	3		1												1			3	5	10	
	3月	1	1				2	5		1												1			1	6	4	14
	4月		1				5		1													1			2	8	2	16
	5月		1				1	6		1												1			2	10	3	19
	6月		1				2	8	1	2												1			1	11	4	23
	7月	2	3				8		2													1				11	2	25
	8月	1	4				2	10	1	3												1		1	12	5	30	
	9月		4				2	12		3												1				12	2	32
	10月		4				12		3													1				12		32
	11月		4				12		3													1				12		32
	12月		4				12		3													1				12		32
対前年同月比	件数	-1	1	±0	±0	±0	±0	±0	±0	2	9	-1	-4	±0	-1	±0	±0	±0	±0	±0	±0	-3	±0	-1	-1	-6	-1	-5
	百分率	-100.0	33.3	±0	±0	±0	±0	±0	±0	-	300.0	-100.0	-57.1	±0	-100.0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	-75.0	±0	-100.0	-100.0	-33.3	-33.3	-13.5

※ 本統計は業種別の死亡災害発生件数を、発生年又は発生月ごとに記載したものである。

※ 本年は速報値を基に、昨年は確定値を基に、発生月ごとの件数を記載したものである。

令和6年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況

令和6年9月末現在

北海道労働局

事故の型番号	業種番号										起因物番号																											
	1	2	3	4	5	6-2	7-2	その他	計	11	12	13	14	15	16	17	21	22	23	31	32	33	34	35	36	37	39	41	51	52	61	71	91	92	99			
事故の型	製造業	鉱山業	土石採取業	建設業	道路貨物運送業	その他の運輸業	陸上貨物取扱業	港湾運送業	林業	水産業	計	原動機	動力機械	木材加工機械	建設用機械	金属加工用機械	一般動力機械	車両系木材伐出機械等	動力クレーン等	動力運搬機	乗物	圧力容器	化学装置	溶接装置	炉・窯等	電気設備	人力機械工具等	用器具	その他の装置設備	仮設物・建築物・構築物等	危険物・有害物等	材料	荷等	自然環境等	その他の起因物	起因物なし	分類不能	
1	墜落、転落	1		2					2	5			1													1	1	2										
2	転倒								1	1																									1			
3	激突																																					
4	飛来、落下			1						1																												
5	崩壊、倒壊			3						3																			1							2		
6	激突され			1						1							1																					
7	はさまれ、巻き込まれ	1		2	1				1	2	7		1	3	1	1		1																				
8	切れ、こすれ									2	2					1																						1
9	踏抜き																																					
10	おぼれ			1						2	3																										3	
11	高温、低温の物との接触																																					
12	有害物等との接触	1									1																										1	
13	感電			1							1														1													
14	爆発																																					
15	破裂																																					
16	火災																																					
17	交通事故(道路)				2					1	3																											
18	交通事故(その他)									2	2																											
19	動作の反動、無理な動作																																					
90	その他	1		1							2																										1	1
99	分類不能																																					
合計		4		12	3				1	12	32	1	4	2	1	1	3	3						1		1	1	1	3	1	1		7		2			

※ 本統計は、把握した死亡者数の速報値である。

令和6年 署別・業種別死亡災害発生状況

令和6年9月末現在

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号	4号		5号		6-2号	7-2号	その他業 の事業	合計
	製 造 業	うち木材木 製品製造業	鉱山保安法 適用事業	土石採取業	建 設 業	道路貨物 運 送 業	その他の 運 輸 業	陸上貨物 取 扱 業	港湾運送業	林 業	水 産 業		
署別													
札幌中央												3	3
札幌東					2	1							3
函 館					3							1	4
小 樽													
岩見沢						1							1
旭 川	1												1
帯 広	1				2							1	4
滝 川					1							1	2
北 見					1							2	3
室 蘭	1											1	2
釧 路					2					1			3
名 寄												2	2
留 萌					1								1
稚 内	1												1
浦 河												1	1
苫小牧						1							1
倶知安													
計	4				12	3				1		12	32

※ 本統計は、把握した死亡者数の速報値である。

令和6年 署別・業種別死傷災害発生状況

令和6年9月末現在

北海道労働局

業種別 署別	全産業合計	製造業							鉱業		建設業				交通運輸事業	陸上貨物運送事業			港湾運送業	林業	水産業	商業		社会福祉施設	飲食店	清掃・と蓄業	左記以外の事業	対前年比増減率			
		計	食料品製造業	木材・家具	紙・印刷	窯業土石製品	金属・機械	その他製造業	鉱山	土石採取業	計	土木工事業	建築工事業	木造建築業		その他建設業	計	道路貨物運送業				陸上貨物取扱業	計						小売業	その他商業	
札幌中央	1,089	66	26	3		1	22	14		1	89	15	55	7	12	58	82	74	8			1	151	107	44	161	35	74	371	-4.8%	
	1,037	95	28	5		1	24	37		1	74	9	37	6	22	50	105	93	12				170	121	49	153	40	84	265		
札幌東	1,155	127	71	5	5	4	18	24			116	34	58	8	16	57	174	152	22				174	122	52	141	38	56	272	3.0%	
	1,190	144	85	3	1	2	24	29			105	28	51	13	13	96	182	169	13				203	164	39	115	19	85	241		
函館	643	80	57	7		1	9	6		1	65	26	25	3	11	6	35	34	1		2	13	60	54	6	66	9	18	288	-22.9%	
	496	79	56	6		4	8	5		2	43	18	19	4	2	6	42	40	2	1	3	9	48	43	5	37	6	22	198		
小樽	191	38	25	2		1	2	8		1	14	8	2	2	2	13	13	12	1			2	21	18	3	45	4	7	33	11.0%	
	212	39	23	1	1		2	12		2	14	7	4	2	1	26	14	14			1	1	19	19		31	2	16	46		
岩見沢	144	33	12	4	1	3	10	3			27	17	7	2	1	3	9	7	2			1	13	12	1	29	4	2	23	-7.6%	
	133	30	13		2	7	1	7	1	1	18	11	4	2	1	5	15	15				2	23	23		11	2	6	19		
旭川	460	66	27	12		5	10	12		1	45	21	15	5	4	8	43	43				3	57	44	13	90	12	25	110	-7.6%	
	425	60	15	14	1	3	12	15		4	44	17	21	3	3	10	38	38				7	50	41	9	61	16	32	103		
帯広	415	66	43	11		1	3	8	1	2	45	14	16	9	6	4	45	45				9	37	32	5	37	6	30	132	-11.6%	
	367	57	33	12			5	7		4	45	15	14	7	9	2	36	36		1	13	1	54	46	8	21	12	18	104		
滝川	131	19	7	2		1	5	4	2		21	10	7	3	1	6	4	4				1	14	12	2	35	3	4	22	-13.0%	
	114	23	8	3	1	2	4	5	1		24	11	9	1	3	3	9	9				2	15	11	4	6	2	10	19		
北見	266	53	40	3		2	4	4			24	9	11	3	1	5	19	17	2			12	10	31	23	8	30	2	16	64	-7.1%
	247	36	17	9		1	4	5		1	27	17	6	2	2	6	14	14				7	12	38	26	12	27	2	7	70	
室蘭	197	30	11			2	9	8			23	2	12	6	3	7	8	8			1	1	28	25	3	16	10	14	59	-16.2%	
	165	16	5			2	6	3			21	4	12	4	1	4	15	15			2	2	35	31	4	27	1	15	26		
釧路	327	62	38	3		1	12	8		1	40	12	19	6	3	7	32	31	1			5	15	41	35	6	38	8	14	64	-4.6%
	312	67	39	11			6	11		2	42	15	17	8	2	7	26	26			3	2	15	35	28	7	24	4	11	74	
名寄	81	13	7	5				1			12	3	7	1	1	1	11	11				6	12	4	4		7		2	13	2.5%
	83	18	10	4			2	2			15	6	7	1	1	1	5	5				4	3	4	2	2	5	1	3	24	
留萌	40	7	6					1			8	5		2	1	1	6	6					3	3	3		4		1	7	-7.5%
	37	8	5	1		1		1			4	2	1	1		1	1	1				2	2	1	1		10	1	2	5	
稚内	91	12	10			1	1			1	16	5	8	2	1	1	10	10				1	8	4	4		19		1	18	-23.1%
	70	10	9	1						1	10	4	3	2	1	1	4	4				1	7	9	5	4	14		4	9	
浦河	128	8	3	2		1		2			8	6	2				2	2				1	3	3	3		8	1	1	93	-4.7%
	122	7	5	1				1			3	1		1	1	2	5	4	1			4	6	2	2		2	1	1	89	
苫小牧	406	74	30	5	5	6	14	14		1	25	6	10	4	5	14	71	69	2		6	5	36	30	6	43	9	16	106	-4.2%	
	389	70	27	6	4	4	17	12		3	34	6	17	6	5	20	44	40	4		8	1	44	35	9	22	9	25	109		
倶知安	86	16	9	6				1			11	4	4	1	2	4	3	3					2	5		5	4	2	1	38	12.8%
	97	11	10	1							11	5	5		1		3	3				1	2	12	3	9	14	2	3	38	
合計	5,850	770	422	70	11	30	119	118	3	9	589	197	258	64	70	195	567	528	39		7	47	70	682	528	154	773	143	282	1,713	-6.1%
	5,496	770	388	78	10	27	115	152	2	21	534	176	227	63	68	240	558	526	32		16	52	58	762	601	161	580	120	344	1,439	
対前年比増減率	-6.1		-8.1	11.4	-9.1	-10.0	-3.4	28.8	-33.3	133.3	-9.3	-10.7	-12.0	-1.6	-2.9	23.1	-1.6	-0.4	-17.9		128.6	10.6	-17.1	11.7	13.8	4.5	-25.0	-16.1	22.0	-16.0	

※ 本統計は、「業種別労働災害発生状況」を管轄署別に集計したものであり、上段は前年、下段は当年である。

※ 本件事例には、脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。

令和6年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況

令和6年9月末現在

北海道労働局

事故の型番号	業種番号 業種	業種											起因物番号 起因物	起因物																										
		1 製	2 鉱	3 土	4 建	5 道	6 陸	6-2 港	7-2 林	7 水	8 水	9 水		11 原	12 動	13 木	14 建	15 金	16 一	17 車	21 動	22 動	23 乗	31 圧	32 化	33 溶	34 炉	35 電	36 人	37 用	39 所	41 仮	51 危	52 材	61 荷	71 自	91 所	92 起	99 分	
1	墜落、転落	90		8	160	133	17	6	6	5	5	300	730		2	13		4		7	131	10		1				3	217	16	256		6	7	53	1	3			
2	転倒	200	2	1	91	143	76	12	1	5	10	1,094	1635			3		2		4	22	26	1			3	45	94	15	629		21	28	630	12	99	1			
3	激突	25			31	27	5	5		3	2	101	199		1	8		4		2	31	12					8	17	12	66		11	5	13	4	5				
4	飛来、落下	45		2	35	28	3	1	4	5	3	76	202			10	2	13		7	11	2	1				11	45	8	5	37	34	13	1	2					
5	崩壊、倒壊	9			13	6				6	1	18	53					1		1	1	1					5	5	2	8		7	7	14	1					
6	激突され	30			19	27	5	3		9	10	116	219		2	8		11	1	8	21	11				1	25	17	3	7		5	11	70	5	13				
7	はさまれ、巻き込まれ	148		7	59	50	7	2	2	6	14	143	438		5	12	23	20	98	3	17	84	20				41	16	10	24		18	18	28	1					
8	切れ、こすれ	59			46	2	2			9	2	109	229			49		13	39			1				2	71	19	5	1		18	2	6		3				
9	踏抜き				2					1		4	7															1		2		2		2						
10	おぼれ				1							2	3																					3						
11	高温・低温の物との接触	20			9	4					1	46	80			1		4			1		1	1	2	5		1	4	12		2	1	1	43	1				
12	有害物等との接触	6			2	1						9	18																		18									
13	感電	1			1							1	3												1	2														
14	爆発					1						2	3																		3									
15	破裂	3				1						3	7									1								5		1								
16	火災				2	1							3																		3									
17	交通事故(道路)	12		1	10	24	19			1		107	174				1					39	132				1								1					
18	交通事故(その他)											6	6									1	5																	
19	動作の反動、無理な動作	94		2	48	74	19	3	3	2	9	460	714				1	3	1	2	34	20	1				29	38	13	115		19	118	66	12	241	1			
90	その他	27			4	4	87					643	765	1															1	1		1		12	734	15				
99	分類不能	1			1						1	5	8										1							1							4	2		
合計		770	2	21	534	526	240	32	16	52	58	3245	5496	1	5	66	68	35	179	5	48	378	240	4	2	2	6	8	240	473	102	1115	26	147	231	954	772	385	4	

※ 本統計は、労働者死傷病報告(休業4日以上)により集計した速報値である。

※本件事例には、脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。

令和6年 製造業における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
6	3	16時台	化学工業	30人以上 49人	はさまれ、巻き込まれ	一般動力機械 162	被災者は、プラスチック粉砕機の内部に詰まったものを取り除くため、上半身だけ機械の内部に入り作業を行っていたところ、被災者の存在に気が付かなかった別の労働者が起動ボタンを押下したため、頭部が機械のカッターに巻き込まれたもの。
6	7	16時台	鉄鋼業	300人以上	有害物との接触	危険物、有害物等 514	被災者は、製鉄所内の熱風炉に隣接する建屋から屋外に出た際、熱風炉上部に設置された排気口から排出された高炉ガスを吸い込み、一酸化炭素中毒を発症したもの。
6	8	16時台	食品製造業	50人以上 99人	墜落、転落	仮設物、建築物等 413	被災者は、作業場内の階段を通行中、階段から転落して床に額を打ち付け、後日体調悪化により亡くなったもの。
6	7	14時台	その他の製造業	30人以上 49人	その他	環7 境1 等9	被災者は、農機具をけん引するトラクターの後進を誘導していたところ、蜂に刺されたため、自らトラックを運転して最寄りの病院に向かったが途中で意識を失い、翌日アナフィラキシーショックにより死亡したもの。

令和6年 建設業における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
6	1	14時台	土木工事業	30人以上 49人	はさまれ、巻き込まれ	建設機械等 149	被災者は、排雪ダンプの誘導のため移動していたところ、一時停車中の除雪ドーザーの後ろで転倒し、その直後後退した除雪ドーザーにひかれたもの。
6	2	9時台	建築工事業	30人以上 49人	崩壊、倒壊	環 境 等 711	被災者は、ドラグ・ショベルで掘削した箇所に入り、スコップを使用して手掘りで地面を掘削していたところ、法面が崩壊し、土砂に下半身が埋まり被災したものの。
6	2	11時台	建築工事業	10人未満	崩壊、倒壊	仮設物、構築物、建築物等 415	被災者は、建築物解体現場にて解体物の搬出準備作業に従事していたところ、倒壊した建築物の下敷きになったもの。
6	3	8時台	土木工事業	10人未満	飛来、落下	材料 521	被災者は、トレーラーの荷台に2段積みされていた鉄筋かごの荷下ろし作業のため、固定していたワイヤーのチェーンブロックを地上で緩めていたところ、荷崩れにより鉄筋かごが落下し、下敷きになったもの。
6	3	9時台	建築工事業	10人未満	墜落、転落	仮設物、構築物、建築物等 415	被災者はマンション1階にある屋外照明を移設するため、手すり等を設けずに1階屋根上を通過して作業場所へ移動していたところ、墜落したものの。
6	5	10時台	その他の建設業	10人未満	感電	電気設備 351	被災者は、低圧電線の取替作業を行うため電柱に登り、腕木付近で身体保持器具の位置替え等を行っていた際に、低圧電線から1.2メートル上部にある高圧電線に誤って触れて感電したものの。

令和6年 建設業における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
6	6	9時台	土木工事業	10人未満	墜落、転落	建設機械等 1 4 4	被災者は、林業専用道上において、ロード・ローラーを運転して作業場所に向かっていたところ、路肩から約20m下の斜面に転落したものの。
6	6	9時台	土木工事業	100人以上299人	その他	起因物なし 9 2 1	被災者は潜水士であり、水深1～3mの水中で玉掛け作業を行っていたが、被災者との通信が途絶えたため、連絡員等がホースを引いて被災者を繰り寄せ、陸上に引き上げたところ心停止していたもの。
6	8	15時台	建築工事業	10人以上29人	激突され	動力クレーン等 2 1 2	被災者は、型枠資材の積み降ろしのため、車両積載型トラッククレーンの荷台の上で、角鋼管の束に玉掛け後、荷に背を向け、電話対応していたところ、移動式クレーンの操作者がリモコンで巻き上げ操作を行い、地切りした荷が動き被災者に激突、被災者は荷台から墜落したものの。
6	8	8時台	土木工事業	100人以上299人	おぼれ	水 7 1 3	被災者は、砂防堰堤工事現場の川岸において測量作業中、対岸に渡ろうとして川に入り横断中、水深約1メートルの箇所川に流され、その後現場から川下2キロメートルの地点で心肺停止の状態で見つかったもの。
6	9	13時台	土木工事業	10人以上29人	崩壊、倒壊	環境等 7 1 1	被災者は、暗渠工事現場にて、掘削後の溝に立ち入り、床均し作業を行っていたところ、側壁の土砂が崩壊し、生き埋めになったもの。
6	9	14時台	土木工事業	10人未満	はさまれ、巻き込まれ	建設機械等 1 4 2	被災者は、道路の横断管改修工事現場にて、ドラグ・ショベルのバケット付近で作業を行っていたところ、ドラグ・ショベルが被災者方向に移動してきたが、地盤の状態によりドラグ・ショベルの停止直後に機体が前方にずれ、被災者がドラグ・ショベルのバケットと付近に置かれていた締固め用機械との間に挟まれたもの。

令和6年 陸上貨物運送事業における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
6	1	10時台	道路貨物運送業	10人以上 29人	交通事故 (道路)	動力運搬機 221	被災者の運転するミキサー車が、中央分離帯を乗り越えて横転し、反対車線を走行していたトラックと衝突したものの。
6	6	11時台	道路貨物運送業	30人以上 49人	はさまれ、巻き込まれ	動力運搬機 221	被災者は、ダンプトラックによる土石運搬業務において、車両を停車後、運転席から降りて作業中、車両が前方へ逸走し始めたため、逸走している車両の前方に回り、人力で停車させようとしたところ、その前方に停車していたダンプトラックとの間にはさまれたものの。
6	8	10時台	道路貨物運送業	50人以上 99人	交通事故(道路)	動力運搬機 221	被災者は、トレーラーを運転中、左急カーブを曲がり切れずに、路外に逸脱し横転したものの。

令和6年 林業災害における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
6	1	10時台	林業	10人未満	はさまれ、巻き込まれ	車両系木材等伐出機械 1 7 1	被災者は、グラップルを使用し、伐倒木の木寄せ集材作業を行っていたところ、グラップルのブームのシリンダーとキャビンのフレームの間に挟まれたもの。

令和6年 その他の業種における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
6	1	11時台	その他の事業	100人以上 299人	交通事故（その他）	乗物 239	被災者が乗船していた作業船が、後方から波を受けて転覆したもの。
6	1	11時台	その他の事業	100人以上 299人	交通事故（その他）	乗物 239	被災者が乗船していた作業船が、後方から波を受けて転覆したもの。
6	2	11時台	畜産業	10人以上 29人	切れ、こすれ	一般動力機械 169	被災者は、牧草ロールを裁断機で細かく裁断する業務に従事していたところ、裁断機により両足を切断したもの。
6	3	13時台	卸売業 その他の	10人未満	はさまれ、巻き込まれ	建設機械等 145	被災者は、金属スクラップの積込の準備作業において、旋回してきた解体用機械の上部旋回体後部とその近傍の金属廃品との間に胸部を挟まれたもの。
6	4	8時台	畜産業	10人未満	はさまれ、巻き込まれ	動力伝導機構 121	被災者は、牛の飼料の混合機が一体となった給餌トラックを運転し、牛の給餌作業に従事していたところ、混合機のスクリューに巻き込まれたもの。
6	2	16時台	その他の商業	300人以上	転倒	環 境 等 719	被災者は、徒歩でフリーペーパーの配達作業を行っていたところ、配達先敷地内の凍結した傾斜地にて足を滑らせ転倒、その翌日に体調の悪化により死亡したもの。

令和6年 その他の業種における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
6	4	9時台	その他の接客娯楽業	10人未満	墜落、転落	3 7 1 用具	被災者は、電線に掛かった木の枝を取り外すため、軽トラックの荷台の上に脚立を置き、天板の上にまたがり、両足で脚立を挟むような体勢で高枝切りばさみを使って木の枝を切ろうとしたところ、バランスを崩し、脚立から軽トラックの運転席前方の地上部まで墜落したものの。
6	5	10時台	農業	10人未満	おぼれ	7 1 3 環境等	被災者は、頭首工で水位管理・清掃業務を行っていたところ、魚道にかけられていた歩み板から墜落し、川に流されたもの。
6	5	12時台	畜産業	10人未満	おぼれ	7 1 3 環境等	被災者は、農業用排水樹の詰まりを解消しようと、バキュームカーに接続するためのホースの端部を同樹内の排水管に接続しようとしたところ、排水樹に転落したと推定される。
6	2	6時台	その他の小売業	100人以上 299人	切れ、こすれ	9 2 1 起因物なし	被災者は、店舗内にて作業を行っていたところ、来店した客に刃物で切り付けられたもの。
6	6	13時台	農業	10人未満	墜落、転落	4 1 4 仮設物 建築物 等建築物、 構	被災者は、米麦貯蔵施設内において、設備に堆積したもみ殻を送気ホースを使用して清掃する作業を行っていたところ、架設通路の手すりのない箇所から、深さ約5.6mの貯蔵タンク内に転落したものの。
6	8	13時台	社会福祉施設	10人以上 29人	交通事故（道路）	2 3 1 乗物	被災者は、利用者宅への訪問看護のためワゴン車で移動中、対向車線からのトレーラーと正面衝突したものの。

死亡労働災害の概要(令和6年9月把握分)

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
6	9	13時台	土 木 工 事 業	10 人 以 上 29 人	崩 壊 、 倒 壊	環 境 等 7 1 1	被災者は、暗渠工事現場にて、掘削後の溝に立ち入り、床均し作業を行っていたところ、側壁の土砂が崩壊し、生き埋めになったもの。
6	9	14時台	土 木 工 事 業	10 人 未 満	は さ ま れ 、 巻 き 込 ま れ	建 設 機 械 等 1 4 2	被災者は、道路の横断管改修工事現場にて、ドラグ・ショベルのバケット付近で作業を行っていたところ、ドラグ・ショベルが被災者方向に移動してきたが、地盤の状態によりドラグ・ショベルの停止直後に機体が前方にずれ、被災者がドラグ・ショベルのバケットと付近に置かれていた締固め用機械との間に挟まれたもの。